

富山プロダクトデザインコンペティション
2014 準とやまデザイン賞

富山飴、 廣貫堂が商品化 11月から発売開始

これまでに数多くのヒット商品を生み出してきた「富山プロダクトデザインコンペティション※」。2014年の同コンペで「準とやまデザイン賞」を受賞した、嶋津有香さんの作品「富山飴」を(株)廣貫堂が商品化。同社直営店舗で11月から発売を開始した。

※2015年度から「富山デザインコンペティション」という名称に変更。

「富山飴」は、2014年に開催した「富山プロダクトデザインコンペティション」で準とやまデザイン賞を獲得した大学生・嶋津有香さん(滋賀県在住)の作品。「食べるガイドブック」をコンセプトにパッケージに富山の物語や情報をデザインしたこの作品にほれ込んだ廣貫堂が、嶋津さんと富山県総合デザインセンターとの共同事業で商品化にこぎつけた。

「富山飴」の個包装には、「とやま弁で『こんにちは』は『まいどはや』など富山にまつわる豆知識や、「とやまの菓の始まりは『江戸城腹痛事件』にあり」といった富山県と富山の菓を題材とした物語などがカラフルに印刷されており、その数は80種類にのぼる。富山のお土産や旅行のお供として購入してもらおう——というのが狙い。中味はカンゾウやカリンのエキス、ハーブなどを組み合わせた「のど飴」。だが、既存商品の新パッケージバージョンとして商品化した。のど飴のイメージを飛び越え、菓都とやま、富山の観光・文化を発信する。

廣貫堂は、「くすりの富山県」を代表する医薬品・医薬部外品メーカーのひとつ。「富山飴」は、11月10日から同社

直営店(廣貫堂資料館、富山空港店、春々堂富山CiC店、春々堂高岡イオン店、三井アウトレットパーク北陸小矢部店)で販売されている。「購入客からは『可愛い』『面白い』と好評。商品開発におけるデザイン大切さを再発見するいい機会となった」と同社企画開発担当は語る。



引き続き同社は、嶋津さんとの共同プロジェクト第2弾として「薬膳カレー」の新バージョンにも着手。女性向けの「カレー」「根菜カレー」2種の商品化を進めている。

